



近畿地方整備局 大阪国道事務所	配布日時	平成29年3月21日 14時00分
資料配布		

件名	<b>すみよしばし 国道26号住吉橋 橋梁技術検討会の開催結果について ～「橋梁架替案が妥当」と判断～</b>
----	---

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 大阪府堺市を横断する国道26号は、一日約5万台が通行する主要な幹線道路であり、堺市地域防災計画においても、大規模災害時に救護活動や物資の輸送等を行う「広域緊急交通路」として位置づけられた重要な路線です。</li><li>○ 国道26号住吉橋（大阪府堺市堺区）は、耐震性に問題があり、これまで、耐震対策手法について、検討を実施していました。</li><li>○ 耐震対策手法について、有識者で構成する橋梁技術検討会を開催し、「橋梁架替案」と「耐震補強案」を比較検討した結果、「橋梁架替案が妥当」との判断を頂きましたので、その結果をお知らせ致します。</li></ul>
----	---

取扱い	—
-----	---

配付場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-----------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 副 所 長 尾下 嘉春（内線205） 地域調整課長 澤村 学 （内線461） 電 話 06-6932-1421（代表）
------	--

# 国道26号住吉橋の概要

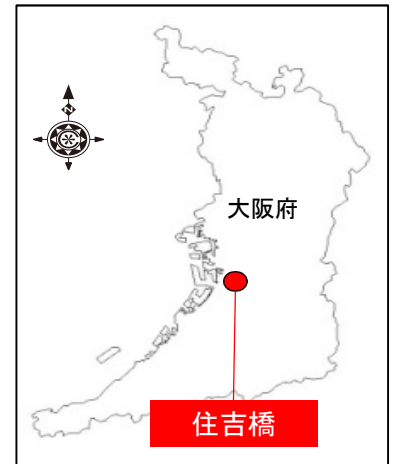
所在地：大阪府堺市堺区竜神橋町1丁

～大町西3丁

架設年：昭和6年、昭和39年、昭和55年

橋長：34.0m（大阪方面）  
39.0m（和歌山方面）

交通量：約52,000台/日



## 位置図



▲住吉橋 側面全景(上流側より)

# 国道26号住吉橋 橋梁技術検討会の開催結果

- 「橋梁架替案」 および「耐震補強案」の対策案について、施工性・維持管理・経済性の観点で比較検討しました。
- 「橋梁架替案」が総合的に優位となることから、「橋梁架替案が妥当」と判断を頂きました。

## 橋梁技術検討会の検討結果

	橋梁架替案	耐震補強案
概要		
実施内容	新橋架替	基礎杭補強、基礎補強、橋脚補強
施工性	△ 橋梁架替を分割して施工するため、大阪方面(または和歌山方面)の交通規制が必要	△ 基礎杭、基礎及び橋脚補強時に仮締切が必要であり、河川内作業に制約がかかるため工期が長期化する
維持管理	○ 新橋であり、当面は定期点検のみ対応	△ 架設から85年経過しており、定期的な橋梁補修が必要
経済性	○ 1.00	△ 1.14 (橋梁架替案を1.00とした場合)

耐震対策手法について施工性・維持管理・経済性の観点から比較検討した結果、「橋梁架替案が妥当」と判断

### (参考)橋梁技術検討会メンバー

- 松井 繁之(大阪大学名誉教授)
- 杉浦 邦征(京都大学 教授)
- 山口 隆司(大阪市立大学 教授)